

市内においては、佐渡産のものを購入しようとする市民への意識啓発が重要であることから、地産地消を含めた佐渡産の農林水産物を使ったコンテスト等のイベントを開催し、市民意識の醸成を図ります。

学校給食での地場産食材として「米飯給食」や「米粉パン給食」を実施し、佐渡産米の利用拡大を図ります。また、給食センターへの野菜提供のための生産組織を立ち上げます。

一方、佐渡を訪れる観光客に、新鮮でおいしい地場産品を提供し、消費拡大を図るため、ホテルや飲食店での地産地消や、ご当地グルメの提供に向けた取り組みを進めます。



(3) 生産から販売までを連携させる産業構造改革

地産地消を推進するため、地場産の食材が生産者から消費者へスムーズに供給できる販売網の整備を図ります。

また、生産・加工・販売を連携させ

る取組みとして、六次産業化を推進し、販売力の強化に努めます。

(4) 更なる環境イメージの向上

本市はトキをシンボルとした生きもの共生環境経済戦略に取り組んでいます。更なるエコアイランド推進を目指し、太陽光等の再生可能エネルギーの利活用、電気自動車等低公害車の普及促進などに取り組みます。

主な事業

佐渡版所得補償補償制度	7270万円
農林水産物販売促進事業	2100万円
生物多様性条約締約国会議関係	521万円
地場産品販売促進事業	2326万円
学校給食事業・生産組織化	916万円
地産地消フェスタ事業	290万円
販売網整備事業	184万円

【2】観光等交流人口の拡大

(1) おもてなしの向上

佐渡は、歴史、文化、芸能、自然が豊かな島で、大変多くの観光資源を有しています。全国の人に佐渡を知っていただくため、今後は「佐渡観光・文化検定」の更なる充実を図り、市民全

体での知識の習得によるおもてなしの向上を進めていきます。

(2) 世界遺産登録の推進

佐渡金山の世界遺産登録には、構成資産の国文化財指定が前提条件であることから、関連する文化財の調査・研究を進め、指定の拡大を図ります。

また、世界遺産登録運動を内外に広く周知するため、歴史的・文化的な価値と魅力を効果的に情報発信し、普及・啓発に取り組みます。



佐渡金山 道遊の割戸

(3) 観光資源の整理と活用

近年、佐渡は、杉の原生林、トキの放鳥、映画で話題のコブダイ等、全国的にも注目を集めています。トキについては「トキとの共生ルール」などの普及啓発のため、市民や観光客がトキとふれあう機会を提供できる観察施設を整備します。

これら山・里・海の資源の活用を図るため、トレッキングガイドの養成やトキガイドの活用、施設整備等の受入

れ体制の充実を図り、新たなツアー造成につなげていきます。

地形や地質など自然遺産が豊かな島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるように、ジオパークとして国際認定を受けるための準備を進めます。

芸能や産業などの、集落のコミュニティを活用し、教育旅行やグリーンツーリズムなどの誘致につなげていきます。

佐渡には、多くの観光資源があり顧客ニーズに沿った観光資源全般の体系化による整理を進め、個々の資源に物語性を持たせ、より効果的な活用を図ります。



杉の原生林